



## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月6日

上場会社名 ウェルシアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3141 URL <https://www.welcia.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 忠久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼執行役員 (氏名) 佐藤 範正 (TEL) 03-5207-5878  
 最高財務責任者  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月6日 配当支払開始予定日 2021年11月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	508,295	6.6	22,735	△14.1	25,145	△9.8	15,527	△10.3
2021年2月期第2四半期	476,656	11.5	26,481	44.0	27,886	42.0	17,300	45.9

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 15,495百万円(△10.8%) 2021年2月期第2四半期 17,378百万円(47.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	74.58	74.52
2021年2月期第2四半期	82.80	82.72

(注) 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	424,680	194,247	45.5
2021年2月期	435,685	180,351	41.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 193,063百万円 2021年2月期 179,490百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	27.00	—	15.00	—
2022年2月期	—	15.00			
2022年2月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年2月期の第2四半期末の配当につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2021年2月期の年間の配当金につきましては、株式分割を行ったことにより単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の期末配当金は30円、年間配当金は57円であります。

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,021,000	7.5	44,300	3.1	47,600	3.9	27,000	△3.6	129.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	209,633,676株	2021年2月期	209,633,676株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	1,270,204株	2021年2月期	1,606,772株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	208,189,249株	2021年2月期2Q	208,949,421株

- (注) 1 期末自己株式数には従業員持株E S O P信託口が保有する当社株式(2021年2月期 1,050,200株、2022年2月期第2四半期 817,300株)、役員報酬B I P信託口が保有する当社株式(2021年2月期 502,238株、2022年2月期第2四半期 440,442株)が含まれております。また、E S O P信託口及びB I P信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。(2021年2月期第2四半期 628,432株、2022年2月期第2四半期 1,419,638株)
- 2 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2021年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のなか、持ち直しの動きは続いているものの、依然として厳しい状況が続いております。また、ワクチンの接種が進んでいるなかでも感染症再拡大による下振れリスクもあり、いまだ収束は見通せず先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界においては、大手同士等の業界再編や異業種を含む競争が激化しております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染症対策商品や外出自粛による食品等の需要が高まったものの、テレワークの継続や定着等によるメイク需要の落ち込み、マスクや手洗い等の習慣化による感冒等の減少、医療機関への受診抑制等の影響が続いております。

このような状況において、当社グループは、引き続き感染防止策や衛生管理対策を講じながら営業を継続し商品供給及びサービスの提供に努めました。物販売上については、化粧品部門がコロナ以前の状況には戻らず、また食品部門は前期の特需の反動がありました。調剤売上については、薬価改定の影響があったものの、調剤併設店舗数の増加(当第2四半期末現在1,747店舗)等により処方箋受付枚数が増加しました。また、販管費については、店舗人時数管理の徹底や自動発注等の推進による店舗業務の効率化を推し進めるとともに、調剤が併設されていない既存店への調剤併設を行い調剤業務の平準化を図るなど、人件費を中心に適正化に努めました。

なお、当社の子会社であるウエルシア薬局株式会社を存続会社として、2021年3月1日付で、愛媛県を中心に四国エリアで調剤事業を展開する当社完全子会社の株式会社ネオファルマー及び株式会社サミットを吸収合併し、事業の効率化を進めました。

出店と閉店につきましては、グループ全体で82店舗の出店と13店舗の閉店を実施し、当第2四半期末の当社グループの店舗数は2,287店舗となりました。

(単位:店)

	前期末店舗数 (2021年2月28日)	事業譲渡 による新規増加 店舗数	合併による 増減数	出店数	閉店数	第2四半期末店舗数 (2021年8月31日)
ウエルシア薬局(注)1	1,899	1	13	76	6	1,983
丸大サクラキ薬局	87	—	—	3	1	89
シミズ薬品	62	—	—	1	1	62
クスリのマルエ	58	—	—	—	1	57
よどや	25	—	—	—	1	24
金光薬品	28	—	—	—	2	26
MASAYA	35	—	—	1	—	36
ネオファルマー(注)2	10	—	△10	—	—	—
サミット(注)3	3	—	△3	—	—	—
国内計	2,207	1	—	81	12	2,277
Welcia-BHG(Singapore)	10	—	—	1	1	10
合計	2,217	1	—	82	13	2,287

(注)1 2021年4月1日付でウエルシア薬局が上新電機の運営するドラッグストア事業1店舗を事業譲渡により譲受しております。

2 2021年3月1日付でウエルシア薬局がネオファルマーを吸収合併したことにより、ウエルシア薬局の第2四半期末店舗数はネオファルマーの店舗を含めて記載しております。

3 2021年3月1日付でウエルシア薬局がサミットを吸収合併したことにより、ウエルシア薬局の第2四半期末店舗数はサミットの店舗を含めて記載しております。

4 上表の「第2四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗は、ウエルシア薬局1,632店舗、丸大サクラキ薬局31店舗、シミズ薬品35店舗、クスリのマルエ19店舗、よどや6店舗、金光薬品19店舗及びWelcia-BHG(Singapore)5店舗の合計1,747店舗、また、深夜営業店舗は、ウエルシア薬局1,579店舗、丸大サクラキ薬局43店舗、シミズ薬品56店舗、クスリのマルエ13店舗、よどや13店舗及び金光薬品9店舗の合計1,713店舗となっております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区 分	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	102,801	103.5
調剤	97,680	116.2
化粧品	79,514	105.6
家庭用雑貨	72,889	105.0
食品	114,523	102.8
その他	40,885	110.3
合 計	508,295	106.6

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は508,295百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益22,735百万円（同14.1%減）、経常利益25,145百万円（同9.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益15,527百万円（同10.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して11,004百万円減少し、424,680百万円となりました。これは主に、商品が2,173百万円、建物及び構築物（純額）が6,727百万円及びリース資産（純額）が2,117百万円増加したものの、現金及び預金が22,439百万円減少したことによるものです。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して24,899百万円減少し、230,433百万円となりました。これは主に、買掛金が19,162百万円及び未払金が2,989百万円減少したことによるものです。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して13,895百万円増加し、194,247百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が3,143百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益15,527百万円を計上したことによるものです。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は28,159百万円となり、前連結会計年度末と比較し22,778百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は804百万円（前年同四半期5,042百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益24,842百万円に対して、収入の主な内訳は非資金費用である減価償却費8,055百万円、支出の主な内訳は賞与引当金の減少額2,118百万円、前連結会計年度末日が金融機関休業日であったこと等による仕入債務の減少額19,167百万円、未払金の減少額3,093百万円、法人税等の支払額8,618百万円があったこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13,813百万円（前年同四半期4,129百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出10,028百万円、敷金の差入による支出2,939百万円があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は8,172百万円（前年同四半期8,874百万円の支出）となりました。

これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出4,118百万円、配当金の支払額3,143百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2021年2月期決算短信」(2021年4月7日)において公表した連結業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,918	29,479
売掛金	44,821	45,694
商品	103,283	105,457
その他	15,867	15,864
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	215,890	196,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,094	90,821
土地	14,743	14,811
リース資産（純額）	42,081	44,198
その他（純額）	7,309	7,848
有形固定資産合計	148,229	157,680
無形固定資産		
のれん	16,899	16,031
その他	2,509	2,592
無形固定資産合計	19,409	18,624
投資その他の資産		
差入保証金	37,017	38,041
その他	15,161	13,862
貸倒引当金	△23	△22
投資その他の資産合計	52,155	51,881
固定資産合計	219,794	228,186
資産合計	435,685	424,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	150,388	131,225
短期借入金	6,394	5,971
リース債務	7,528	7,977
未払金	13,287	10,298
未払法人税等	7,757	8,219
賞与引当金	4,653	2,535
役員賞与引当金	142	23
ポイント引当金	26	25
その他	12,868	12,112
流動負債合計	203,049	178,390
固定負債		
長期借入金	9,222	7,256
リース債務	24,406	25,446
資産除去債務	9,955	10,361
退職給付に係る負債	5,281	5,707
役員株式給付引当金	717	658
その他	2,700	2,613
固定負債合計	52,284	52,043
負債合計	255,333	230,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,736	7,736
資本剰余金	51,672	51,670
利益剰余金	125,866	138,249
自己株式	△5,855	△4,667
株主資本合計	179,419	192,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	357	316
為替換算調整勘定	3	14
退職給付に係る調整累計額	△289	△257
その他の包括利益累計額合計	70	74
新株予約権	230	183
非支配株主持分	630	1,000
純資産合計	180,351	194,247
負債純資産合計	435,685	424,680



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	476,656	508,295
売上原価	328,959	350,480
売上総利益	147,696	157,814
販売費及び一般管理費	121,214	135,078
営業利益	26,481	22,735
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	6
不動産賃貸料	494	477
協賛金収入	100	153
補助金収入	—	956
その他	1,112	1,250
営業外収益合計	1,717	2,844
営業外費用		
支払利息	213	222
持分法による投資損失	4	1
不動産賃貸原価	79	82
その他	14	127
営業外費用合計	312	434
経常利益	27,886	25,145
特別利益		
段階取得に係る差益	169	—
固定資産売却益	102	4
その他	83	3
特別利益合計	354	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	48	156
減損損失	314	106
新型コロナウイルス対応による損失	460	11
その他	23	35
特別損失合計	846	310
税金等調整前四半期純利益	27,394	24,842
法人税、住民税及び事業税	9,220	8,179
法人税等調整額	894	1,178
法人税等合計	10,115	9,357
四半期純利益	17,279	15,485
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	△41
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,300	15,527

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純利益	17,279	15,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	△40
為替換算調整勘定	△15	22
退職給付に係る調整額	25	27
その他の包括利益合計	99	10
四半期包括利益	17,378	15,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,406	15,526
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	△30

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,394	24,842
減価償却費	7,277	8,055
減損損失	314	106
のれん償却額	830	916
段階取得に係る差損益(△は益)	△169	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,063	△2,118
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	38	△118
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	399	480
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	53	△59
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△8	△6
支払利息	213	222
建設協力金と相殺した賃借料	516	530
固定資産売却益	△102	△4
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	25	156
固定資産受贈益	△120	△101
売上債権の増減額(△は増加)	4,522	△869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,300	△2,181
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,701	△19,167
未払消費税等の増減額(△は減少)	258	157
未払金の増減額(△は減少)	△1,219	△3,093
その他	△1,305	△1,320
小計	13,840	6,426
利息及び配当金の受取額	13	6
利息の支払額	△209	△227
法人税等の支払額	△9,877	△8,618
法人税等の還付額	1,275	1,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,042	△804
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△555	△946
定期預金の払戻による収入	945	608
有形固定資産の取得による支出	△6,153	△10,028
有形固定資産の売却による収入	430	4
無形固定資産の取得による支出	△306	△372
関係会社預け金の払戻による収入	7,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,445	—
無形固定資産の売却による収入	0	—
敷金の差入による支出	△2,896	△2,939
敷金の回収による収入	134	104
その他	△282	△242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,129	△13,813

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140	△59
長期借入金の返済による支出	△2,127	△2,330
社債の償還による支出	△290	△55
配当金の支払額	△2,829	△3,143
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,443	△4,118
自己株式の取得による支出	△506	△1
非支配株主からの払込みによる収入	—	396
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△21
その他	181	1,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,874	△8,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,963	△22,778
現金及び現金同等物の期首残高	37,599	50,937
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	41	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,676	28,159

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2021年7月16日開催の取締役会において株式会社ププレひまわり（以下、「対象会社」）と資本業務提携（子会社化）を目的とした基本合意書を締結することを決議し、同日付で基本合意書を締結しております。

この度、2021年9月20日開催の取締役会において、対象会社の株式を取得して子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

名称 株式会社ププレひまわり  
事業内容 ドラッグストアの経営

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供します」の企業理念のもと、健康をテーマとした付加価値の高い商品やサービスを提案する「生活のプラットフォーム」「専門総合店舗」を目指し、「調剤併設」、「カウンセリング営業」、「深夜営業」及び「介護」を軸としたビジネスモデルを進化させつつ、薬剤師、登録販売者、ビューティアドバイザー、管理栄養士、調剤事務員などの従業員の専門知識を生かしたカウンセリングと丁寧な接客、地域性にこだわりを持った品ぞろえ、より便利に利用いただけるサービスの充実により、近隣にお住いのお客様の健康や美容、そして豊かな暮らしをサポートする店舗づくりを目指し、関東中心に東北から中国四国地方において展開しております。

一方、ププレひまわりは、「地域の皆様の健康で美しく豊かな潤いのある生活のサポート集団を目指します」「お客様第一主義であり、いつも感謝の気持ちを持ち元気な挨拶、明るい笑顔、的確な商品知識で満足を提供します」「私たちはお互いを尊重し仕事を通して能力向上を図り、ゆとりある生活を実現します」を経営理念とし、地域の皆様に必要とされる企業として専門性と生活利便性を備えた融合店舗をめざし、広島県を中心に岡山県、島根県、鳥取県、兵庫県、愛媛県、香川県に店舗展開をしております。

今般、中国四国地方の店舗網拡大を図るとともに、それぞれの保有するノウハウや人材等の経営資源を共有することで、経営規模の拡大と経営体質の強化が見込まれると考えております。

(3) 企業結合日

2021年12月1日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

51.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	13,200百万円
取得原価		13,200百万円

(注) 実際の取得価額は、株式譲渡契約に定める株式取得実行時の価格調整を実施した金額となる予定です。現時点で予定されている取得価額を記載していますが、価格調整の金額により最終的な取得価額は変動することが見込まれます。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。